

□ 駒場剣友会平成14年度前期スタート

「さくら草旗争奪剣道大会」も終わり、6年生が卒業してよいよ新体制でのスタートです。新主将羽鳥君を中心に稽古に励みましょう。ここ数年皆さんの上達には目覚しいものがあります。それに、慢心することなく普段の生活態度を振り返って見ましょう。学校の勉強・食事の時・朝から晩までしっかりとできていますか？剣道が上手になる人は普段の生活もしっかりしてくるものです。みなさんお正月に発表した目標に向かって精進しましょう。(新年に立てた目標わすれてないかな？) そうそう丸山先生がおっしゃっていた一日一本素振りをふやしていくと…一年で何本ふえるかな？ …やっている？やっている人？ 精進、精進。[継続は力なり]菅原先生の座右の銘でもあります。



新駒場剣友会主将・副主将紹介

- 主将： 羽鳥君の抱負…がんばります！これから1年よろしくおねがいします。
 (電話でのインタビューに、しっかりとはっきり答えていただきました。先輩達からも応援が届いています「頑張れバード！」)
- 副主将： 奥山(兄)君の抱負…主将をサポートしてがんばっていきたくと思います。
 (当日は、多少上がってしまいましたが、今はやる気満々が、声に現れて伝わってきました。)
- 副主将： 宮地君の抱負…主将を助け、奥山君と協力してがんばります。
 (ちょうど、春休み素振り250本終わったところでのインタビューでした。毎日の正直な努力は素晴らしい。)

◎今回の選出は本当に僥倖でした。6年生の力がなってもおかしくありませんでした。一人一人が自信をもっていいでしょう。皆さんそれだけの力があるのです。3人だけが頑張ってもだめです。みなさんと一緒に駒場剣友会を引っ張っていくことが大切です。(山崎先生談)先輩は後輩を助けて、後輩は先輩を敬い。みなさんと素晴らしい剣友会にしていきたいです。

□ 丸山先生より一言「さくら草旗争奪剣道大会でのお話抜粋。」

駒場剣友会のみんなは、打ちも早くたくさんの技もできるし気合も充分にはいっています。試合の中で、たくさんの打ちの中で「大砲の打突」をこころがけると良い。みんなの打ちは機関銃だね。バチャバチャという打ちなんだね。その中で、ここぞという時、「どーん」と大砲のような打ちができるといいですね。
 ◎今後ここでは、先生が稽古のとき、試合のときその時々にはされる貴重な教えを拾って皆さんにお伝えできるようなコーナーにしていきたいと思っています。みなさんもよく聞いていて、間違えていたら教えてくださいね。

□ 駒場剣友会連載記事(先生達紹介コーナー)

先生達の小学生の頃、剣道をはじめたころ、剣道の思い出。etc
 楽しみなコーナーにしていきたいと考えていますよ。みんなが聞きたい質問あったら聞かせてください。

□ 3月24日「村岡杯」の試合のこと

「はじめての試合でドキドキした。会場がとっても大きく感じた。」(高橋薫平くん)でも薫平君駒場剣友会で習った技がたくさんでいました。面だけじゃない。小手も胴もしっかり打っていました。声も大きく出していた素晴らしい試合でした。とてもはじめての試合ドキドキしていたとは思いませんでした。1年生本荘風人君も初試合初勝利。一回戦勝ちました。本当にりっぱな試合でした。これからはじめて試合に出る駒場の仲間「ドキドキ」したこと教えてあげてください。先輩達もはじめて試合に出たときのことを話してあげてください。きっとおもしろい話、参考になる話聞けるとおもいますよ！

□ お父さん・お母さんのためのワンポイント剣道・

「どいてない体育館の方でやらないの？」

広い方の体育館を使用してやればいいのに？こんな狭い道場でやらなくても？こんな声がきこえてきました。実は、剣道場にはスプリングが入っていて、剣道独特の踏み込みのとき、足に負担の少ない構造にできているのです。普通の体育館よりゆれるのはそのためなのです。ご父兄の中には、剣道経験がおありの方もいらっしゃいますが、そうでない方が大多数です。素朴な疑問。いまさら聞けないかな？どうなってんの？どいたらいいの？そんなご意見に答えて「ああ～知らなかったのあたしだけじゃないんだ。ふふふ。」と納得していただければと思います。防具の管理の仕方などなど。



編集後記

今後、先生をはじめ、児童・ご父兄の方々や会話の糸口にもなればと思いつ成していこうと思います。結構知らないこと、知りたいことがありますよね？たのしい紙面にしていきたいと思っています。ご協力ください。

